

大野市の財政状況は
ほかの市と比べるとどんな感じ？

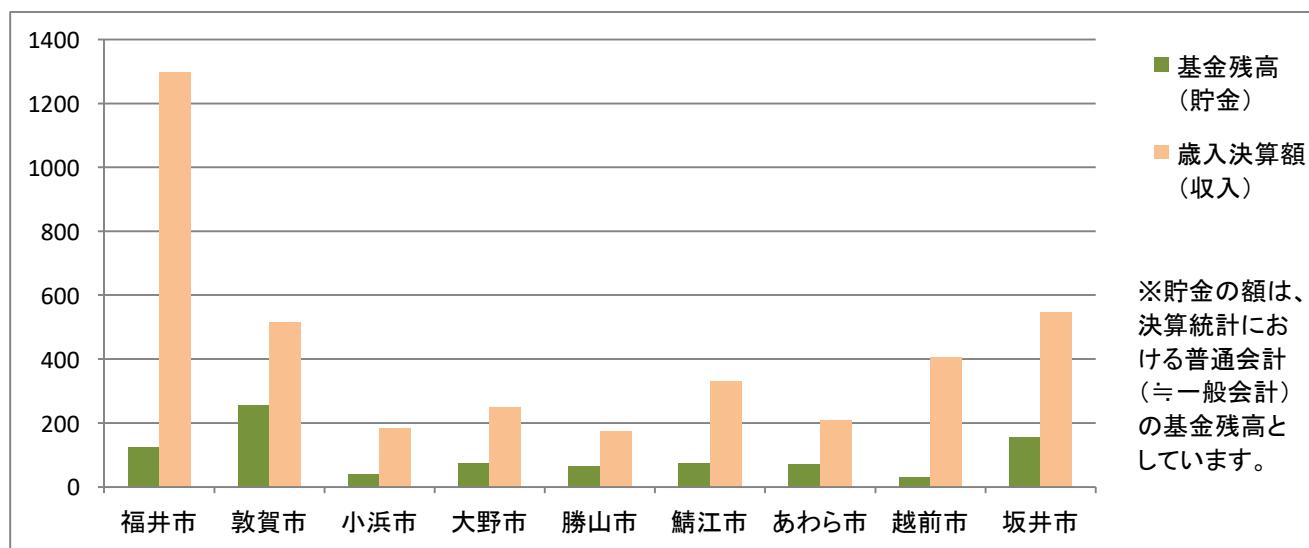
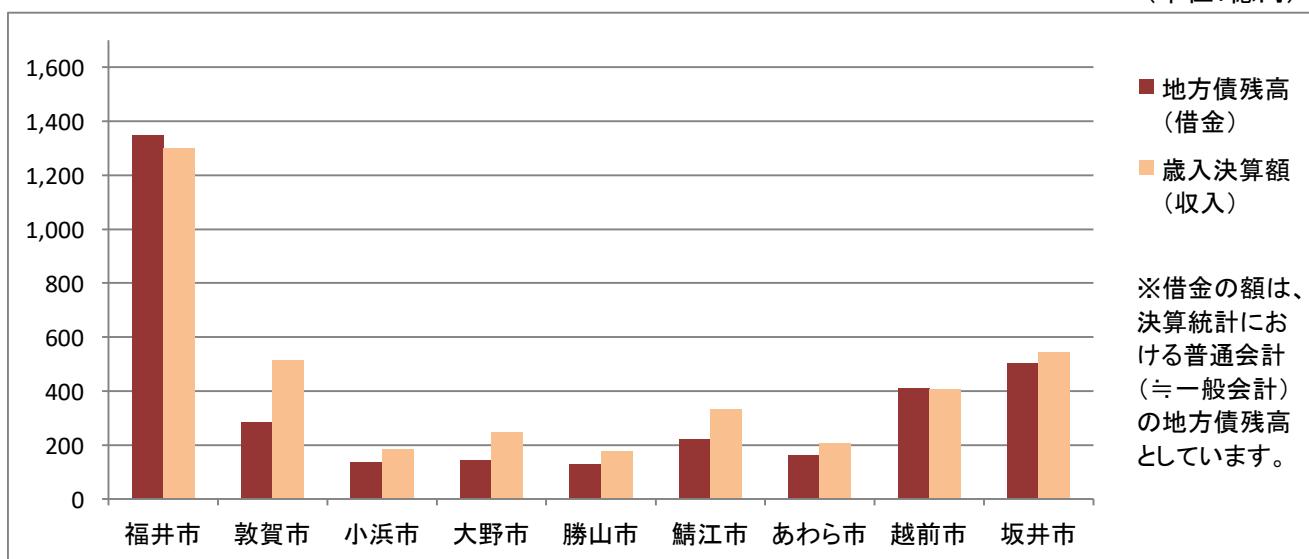


令和6年度の決算の概要を
見てみましょう。



○県内各市の借金・貯金の状況

(単位:億円)



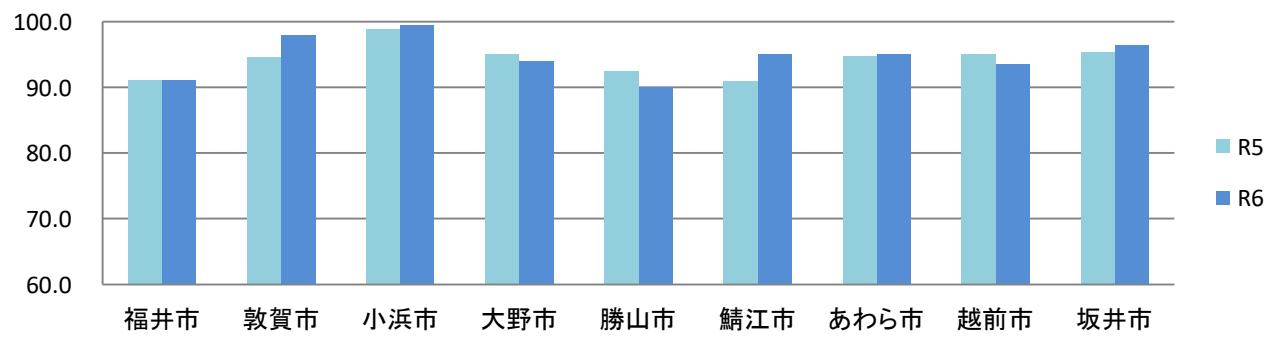
各市の決算規模は大小さまざまですが、借金（地方債）と貯金（基金）の額をそれぞれ収入（歳入決算額）と比べると、大野市は年間の収入より借金が少なく、比較的貯金があることが分かります。



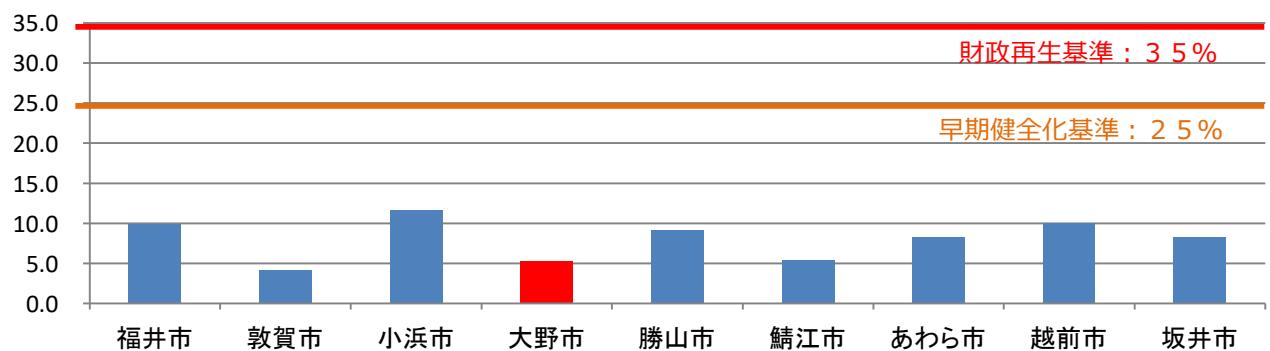
○県内各市の経常収支比率、健全化判断比率

(単位: %)

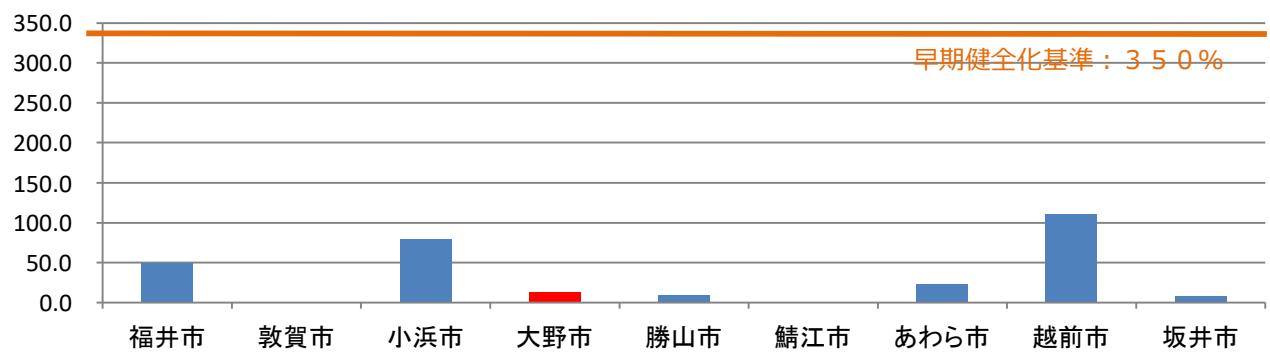
経常収支比率（財政の弾力性を示す指標）



実質公債費比率（実質的な借金返済額の大きさを示す指標）



将来負担比率（借金残高など将来的な負債の大きさを示す指標）



経常収支比率は、毎年支払わなければならない経費が経常的な収入に占める割合で、高いほど財政に余裕がないと判断されます。経常収支比率を下げるためには、自主財源の確保や事業の最適化などの対策が必要となります。

実質公債費比率や将来負担比率は、財政が健全に運営されているかを判断する指標で、どの市も国が定める財政再生基準や早期健全化基準を大きく下回っており、健全な財政の範囲内にあると言えます。なお、実質赤字比率等は、赤字額がないため算定されません。

